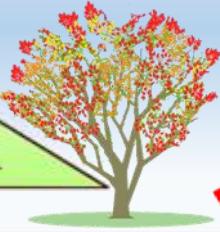


さかした

タバムス

ときめき・かがやき・つながる さかした



第 242 号

## 花馬祭りが開催されました



10月12日(日)、岐阜県重要無形民俗文化財指定(平成20年9月)、木曾義仲公ゆかりで八百余年の伝統ある「坂下の花馬祭り」が、盛大に開催されました。

JR坂下駅前に集結した3頭の花馬は、中学生を中心としたお囃子に先導され、250名に及ぶ大行列となり、坂下神社まで練り歩きました。境内では花馬祭りの最高潮である「花とり」「一石投餅」が行われました。

祭りの協賛として出演いただいた「子ども手踊り」「神輿」の皆様、また下組・合郷組・町組それぞれ3組の役員の皆様ありがとうございました。

## 桜の湖そばの花まつり 2025 in 月の市 【絵手紙コンテスト】入選作品紹介

9月に開催のイベントにおける【絵手紙コンテスト(坂下文化協会共催)】の審査結果が発表されました。57点の応募のなかから、3作品が入選しました。なお、この作品は今後の各イベント等に活用されます。(敬称略)

〈最優秀賞〉 小谷 優香菜 (愛知県一宮市)



〈優秀賞〉  
粥川 祐衣  
(中津川市付知町)



〈準優秀賞〉  
西尾 陽咲  
(中津川市上野)



## 区長会通信

坂下地区的皆さんへ

日頃は、区長会活動へのご理解、ご協力を頂き、ありがとうございます。

今回は、9月末に行われました『坂下診療所存続検討委員会と市医療福祉部との合同会議』と、10月に行いました『曾我五郎十郎翁顕彰祭』の内容についてご報告したいと思います。

## 『坂下診療所存続検討委員会と市医療福祉部との合同会議』について

①日 時 9月 25日 (木) 18:30~19:50 坂下公民館

②出席者 医療福祉部：早川部長・水野次長・加藤課長補佐 病院局：瀬瀬局長

検討委員会：(坂下地区区長会) 安江・宮澤(坂下まち協) 加藤・松井・小幡

③合同会議の発言要旨

【医療福祉部】現時点での決定事項はありません。

〈今後の検討の方向性〉

- 当面は、現状の医療体制のままの運営となる。改めて坂下診療所の経営分析を行い伸ばすべき強みと、改善すべき弱みの検討を進める。
- 医師の確保と財政負担が大きな課題であるが、可能な限り現在の診療所を残せるよう努力する。

【検討委員会】〈意見、要望事項〉

- 中津川市の医療ネットワーク構築の中で、坂下診療所を旧恵北地域の医療拠点としての位置づけを検討して頂きたい。
- 公設公営での診療所存続は、医師確保と財政負担の限界があるため、純正会及び、民間の力を借りながらの、現有の医療規模の維持と19床の稼働を検討頂きたい。
- 坂下診療所の今後の姿が見えるまでの間、本合同会議の定期開催をお願いします。

## 『曾我五郎十郎翁顕彰祭』について

10月18日(土) 11:00~ 坂下神社境内翁徳碑前にて、区長会主催で、関係者及び、曾我五郎十郎翁のご子孫ご出席のもと執り行い、坂下地区のために高峰山の山林(約298ha)を明治初期に自費で買取り、市有林の基礎を造られた翁の偉大な功績をたたえると共に、山林育成に携わる人々の無事を祈願致しました。



今後とも、ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



### 合同乳幼児学級 ～五平餅会～

10月17日(金)、川上自然休養村センターでやさか地区の乳幼児学級が五平餅会を行いました。

ボランティアの方々に火起こしなどを手伝っていただき、みんなで協力して郷土食を作りました。手作りの五平餅はとてもおいしかったです。

### 花で地域を明るく！

11月8日(土)、地域のボランティアグループ「チャムメイツ」と坂下中学校の生徒・先生が、坂下総合体育館の花壇と地域に置くプランターに花を植える作業を行いました。毎年、春と秋の2回行っているもので、プランターには生徒と先生が描いたメッセージが添えられています。地域内7か所に置かれています。



市の広報に関するアンケートにご協力ください。



回答期限：  
1月31日(土)  
お問合せ：  
中津川市役所  
秘書広報課  
☎ 66-1111 (内線 315)

### 年末・年始のごあんない ごみの収集日は4ページをご覧ください。

坂下総合事務所 休庁日 12月27日(土) ~ 1月4日(日)

戸籍の異動(死亡届等)は坂下公民館で受け付けます。

坂下公民館 休館日 12月27日(土) ~ 1月5日(月)

12月27日(土) ~ 1月4日(日) 9:00~17:15に限り、戸籍の異動(死亡届等)を受け付けます。

坂下総合体育館 休館日 12月26日(金) ~ 1月5日(月)

国保坂下診療所 休診日 12月27日(土) ~ 1月4日(日)

健康福祉社会館あおぞら 休館日 12月27日(土) ~ 1月4日(日)

巡回バス 運休日 12月27日(土) ~ 1月4日(日)

# 郷土文化財紹介

## ＜坂下の養蚕・蚕種・製糸業 その5～養蚕業4～＞

養蚕は農家にとって稻作と併行して作業が出来る貴重な収入源でした。平成版『坂下町史』によると、明治20年の村内生産物のトップは米で7,500円(35%)、次が繭で4,600円(21%)です。明治29年になるとトップは生糸34,200円(23%)、次が米で19,800円(13%)となります。つまり米も重要な産物ですが、製糸工場が出来て他町村からの繭の移入分もあって生糸がトップになっています。この頃養蚕・製糸業が急成長し始めたのです。

2021(令和3)年に放送されたNHK大河ドラマ『青天を衝け』は、沢山栄一を主人公に幕末から昭和初期までを描いていました。ドラマの初めに当時の養蚕農家の様子が登場しました。その頃と同時代からある田島弥平旧宅と高山社跡を見てみましょう。

田島弥平旧宅は群馬県伊勢崎市に保存されています。田島家は幕末からの蚕種製造農家でした。蚕の飼育は難しく年によって収量に大きな差があったため、弥平は各地の養蚕方法を研究して自然の通気が必要と考え「清涼育」を確立し、安定した繭の生産に成功しました。「清涼育」に適した蚕室として1863(文久3)年、棟の上に換気設備(櫓・越屋根・気抜き等)地域によって呼び方はいろいろある)を備えた、瓦葺総二階建ての住居兼蚕室を建てました。桁行約24.3m、梁間約9.1mの豪壮な建物で、一階は住居、二階は蚕室でした。弥平は「清涼育」普及のため『養蚕新論』を著し、櫓を付けた蚕室はその後の養蚕農家建築の標準になりました。



←(中津川市福岡) N宅

その後、蚕室を暖めて蚕の成育を促し、速く繭を作らせる「温暖育」が登場します。囲炉裏や暖炉などで暖房するのですが、炭酸ガスや煤煙などの問題もありました。

郷土文化財保存会会員

たぐち のりいち  
田口 憲一

更に1880(明治13)年になると両飼育法を使い分ける「清涼育」が登場し、高山社がそうでした。「温暖育」の問題を解決した「折衷育」です。櫓は部屋ごとに作られていました。櫓・越屋根のある建物は、かつての養蚕農家のシンボルです。



→(群馬県藤岡市) 高山社跡  
『世界文化遺産富岡製糸場』より

現在坂下地区では櫓・越屋根のある建物は、握の田口家と大門館の本宅だけとなりました。しかし、この様な大規模な建物を作るのには多額の費用がかかるので、多くの農家では自宅や納屋を少し改築するなどして蚕を飼っていたようです。

第二次世界大戦で桑畑は食糧増産のため姿を消し、養蚕は廃れました。しかし、戦後再び養蚕全盛期が復活し、新しい蚕室も登場しました。とりわけ合郷地区では盛んで、急斜面を切り開き桑畑を増やして、繭の増産に励みました。この頃有名だった映画『七人の侍』にちなんだのでしょうか、繭の増産に尽力した人々は「七人のサムライ」と称されていました。

佐々木國翁著『あすごう』後編55~56ページには、かつてあった多くの蚕室が記録されており、今も建っている家もあります。

戦後は、蚕の品種改良や技術進歩、稚蚕の共同飼育等で蚕室も変わりました。



←(中津川市坂下) 大門  
島井田 岳村昌之宅の蚕室



毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議

12月 21日

おうちの しごとは わたしも やろう

**坂下高校**  
賢・剛・優



**福祉科による  
地域連携活動**

9月19日(金)、『福祉講座』を本校で開催し、坂下小学校6年生30名が参加しました。参加した小学生は福祉施設の見学や福祉用具を使用した体験を通して、福祉への興味関心を高めることができました。翌日20日(土)には、中津川市高齢介護課・社会福祉課・地域包括支援センター主催の『高齢・福祉フェア』に本校福祉科もブースを出店し、80名を超える方にハンドマッサージを体験してもらいました。

10月20日(月)、中津川市北部地域包括支援センター・中津川市社会福祉協議会主催の『介護者のつどい』が本校で開催されました。ハンドマッサージの実施や、座談会を行い、参加した方はとても有意義な時間を過ごすことができました。

**坂下小学校  
ひとりだち 運動会**

10月25日(土)、運動会がありました。今年度は、たくさんの方にご観覧いただけたよう、土曜日に開催しました。

勝利に向けて一生懸命最後までがんばる子ども達の姿に、観覧席からはたくさん声援が送られました。低学年の玉入れとダンスを合わせた競技では、観客も一緒にリズムをとるなど会場に一体感が生まれていました。

演技では、低・中・高学年がそれぞれ練習を重ねてきました。特に運動会の最後の種目だった高学年の「ソーラン節」での力強さや切れのいい動きに会場からは大きな拍手が贈られました。子ども達の輝いた姿をたくさんのお客さん見ていただけた素晴らしい運動会になりました。



**《12月の主な行事》**

日	曜日	行事名	時 間	場 所
4	木	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
17	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
19	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
22	月	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
26	金	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	
		官公庁仕事納め		

**ごみの収集日**

燃えるごみ	毎週月・木曜日	燃えないごみ	3日(水)
	年末 収集日 29日(月)	資源・硬質ごみ	10日(水)
有害ごみ	12月の収集はありません。	大型ごみ	19日(金)
2026年通常収集1月5日(月)~※1日(木)の収集はありません。			

**坂下中学校  
超升先輩**

**理工系分野で活躍する  
女性ロールモデルとの  
交 流 事 業**

10月24日(金)、2年生を対象に表題の交流事業を行いました。この事業は、岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センターが実施しているものです。講師には、現在理工系の研究分野で活躍してみえる女性2名にお越しいただきました。男性だから、女性だからという無意識の思い込み(=バイアス)に影響されていることの例を学びながら、学業や職業を選択するときに自分の夢や生きがいを求めていくことの大切さを話していただきました。また、人生の先輩である講師の先生の歩みから、学習への取り組み方や目標を立てるときの心構えを学びました。2年生は、この事業の1週間後に職場体験学習を行い、働くことを通して自己の進路についての意識を高めました。



**やさかこども園  
かがやく瞳**

10月18日(土)、やさかこども園の運動会が行なわれました。天気の心配もありましたが、全ての競技を外で行なうことができました。今年も多くの方の応援を受けて、当日の子ども達はやる気いっぱいでした。どの学年も、この日に向けて取り組んできた練習の成果を観てもらうことができました。また、今年は保護者競技(綱引き)・祖父母競技(玉入れ)を取り入れました。お父さん・お母さん・祖父母の方の活躍に子ども達は大興奮!保護者や祖父母の方々にも楽しんでいただく事ができました。役員の方々、保護者の皆様、係の仕事や準備片付けなど、本当にありがとうございました。運動会が終わり、今では秋見つけを楽しんでいる子ども達ですが、運動会でつけた力を今後の活動に繋げていきたいと思います。



**慶弔のお知らせ**

10月11日から11月10日の

坂下総合事務所への届出分

●ご逝去 (敬称略)

藤井 ちさと (48歳) 矢渕

吉村 かね子 (91歳) 矢渕

人口と世帯数(令和7年11月1日現在)

人口	3,858人(前月比13人減)
男	1,868人、女 1,990人
世帯数	1,603世帯(前月比7世帯減)

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話 0573-75-2111

FAX 0573-75-4704

Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp